

奉祝

天皇陛下御即位
三十年記念

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

全国老人クラブ大会ご臨席

平成4年9月6日……………創立30周年記念大会

平成14年9月26日……………創立40周年記念大会

平成24年10月4日……………創立50周年記念大会

老人クラブ活動をご視察

平成26年9月30日……………東京都練馬区老人クラブ連合会
老人大学教室

奉祝

天皇陛下御即位三十年記念

天皇陛下におかれましては、来年1月7日に御在位三十年を迎えられ、4月30日には御退位なされます。

老人クラブでは、全老連創立30周年（平成4年）・40周年（平成14年）・50周年（平成24年）の節目の全国大会において、天皇皇后両陛下の御臨席の栄に浴し、「おことば」を賜りました。

また、平成26年には、「敬老の日」にちなむ行幸啓で、老人クラブ活動の御視察も賜っています。

ここで、これまで賜りました「おことば」や御臨席写真、行幸啓での御視察の御姿を振り返りながら、会員の皆様とともに今上陛下の御即位三十年をお祝い申し上げたいと存じます。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

創立30周年記念全国老人クラブ大会

平成4年9月6日 日比谷公会堂



おこしごば

全国老人クラブ連合会の創立三十周年記念全国大会を、本日、ここにお集まりの皆さんと共に祝うことをうれしく思います。

三十年にわたる関係者のたゆみない努力により、老人クラブが全国に広く普及し、高齢者の社会参加や明るい地域社会づくりが進められていることは、誠に喜ばしいこととあります。ここに、この度表彰を受けられた方々を始めとする関係者の尽力に対し、深く敬意を表したいと思えます。

今日、我が国が長寿社会を迎え、高齢者が元気に社会に参加していることは、高齢化が進む今後の日本にとり、大変に心強いこととあります。高齢者自らが友愛の輪を広げ、明るく健やかな社会づくりに参加することが重要であり、そのよりどころとしての老人クラブの活動に大きな期待が寄せられます。

皆さん方には、健康に十分気を付けられ、豊かな日々を過ごされるよう願うとともに、連合会および傘下の老人クラブの活動が更に一層発展することを祈って、お祝いの言葉といたします。

創立40周年記念全国老人クラブ大会

平成14年9月26日 日比谷公会堂



おはようございます

本日、全国老人クラブ連合会の大会に臨み、ここに集う会員一同と共に連合会創立四十周年を祝うことを、誠に喜ばしく思います。

老人クラブは、戦後の厳しい状況の中、各地で、高齢者自身が作り上げたものであり、それぞれの地域に明るい長寿社会を築くことに寄与してきました。これまでの関係者の尽力に対し、深く敬意を表します。

皆さんの世代は、戦中、戦後の苦難を乗り越え、たゆみない努力により、我が国の発展に大きく貢献した人々の世代であり、近年高齢化が著しく進んでいる状況の下にあつて、引き続き様々な分野で元気に活躍している姿を見ることは、誠に頼もしいことでもあります。各地の老人クラブが健康、友愛、奉仕を柱とした様々な活動に取り組み、また、自ら体験した歴史を若い人々に語り伝えていくなど、世代を超えた交流にも努めていることは、我が国に、他者の立場をおもんばかる心豊かな社会を発展させていく上で、大きな役割を果たしていることと考えます。

全国の老人クラブの会員が、健康を大切にし、今後とも、社会のために活躍していかれることを願い、お祝いの言葉といたします。

創立50周年記念全国老人クラブ大会

平成24年10月4日 日比谷公会堂



お祝いごころ

全国老人クラブ連合会の創立五十周年に当たり、皆さんと共にこの記念大会に臨むことをうれしく思います。

五十年にわたる関係者のたゆみない努力によって、老人クラブが全国に普及し、各地において高齢者の社会参加や健康の保持に貢献してきたことは、誠に喜ばしく、この度表彰を受けられる皆さんを始め、多くの関係者の尽力に対し、深く敬意を表します。

多くの高齢者が、老人クラブの様々な活動を通じて、子どもたちや若い世代とも交流しながら、積極的に社会参加を進めていることは非常に心強いことでもあります。老人クラブが、豊かで活力のある社会を築くために、引き続き大きな役割を果たすことを期待しております。

今日の高齢者は―私もその一人ですが―多くの人命が失われた悲惨な戦争によって荒廃した国土から立ち上がっていく我が国と、歩みを共にしてこられました。私どもは若いときに平和の大切さを身にしみて育った世代です。皆さんが老人クラブなどの活動を通して、それぞれ幼いときに、あるいは青年として経験したことを、直に子どもたちや若い世代の人々に伝えていくことは、我が国のために極めて大切なことと思われれます。

会員の皆さんには、くれぐれも健康に気を付け、将来にわたって元気に過ごされるよう願うとともに、全国の老人クラブの活動がより一層発展することを期待し、大会に寄せる言葉といたします。

「敬老の日」にちなむ行幸啓

東京都練馬区老人クラブ連合会の活動をご視察

平成26年9月30日 区立練馬文化センター



写真提供：練馬区広聴広報課

天皇皇后両陛下は9月30日、「敬老の日」にちなむ行幸啓で練馬区老人クラブ連合会（クラブ数・136クラブ、会員数・10,297名）の取り組みを御視察にられました。

当日、会場となった区立練馬文化センターで、同連合会・増田時枝会長、厚生労働省老健局・三浦公嗣局長、練馬区・前川耀男区長、練馬区議会・村上悦栄議長のお出迎えを受けられた両陛下は、三浦局長から施策概要を御聴取にられた後、増田会長の御先導・御説明により、「さわやかコーラス教室」「フラダンス教室」の活動を御覧にられました。

この教室は、練馬区老人クラブ連合会が会員相互の親睦と健康の保持・増進を図ることを目的に実施している「老人大学教室」の一つで、それぞれ月2回開催しています。

両陛下は、披露された歌、ダンスに盛んに拍手を送られ、「高齢の方が元気でいることは心強いですね」「いつまでもお元気で続けください」などと参加者一人ひとりに親しくお声かけにられ、参加した会員は「一生の思い出になりました」「これからの活動の励みになりました」と感激いっぱいの様子でした。

なお、両陛下が長年にわたりお続けになられてきた「敬老の日」にちなむ御訪問は、本年度最後となり、来年以降は皇太子ご夫妻や秋篠宮ご夫妻にお譲りされることになっています。老人クラブとしては、両陛下による最後の御視察を賜るといふ栄を授かることとなりました。

（平成26年月刊「全老連」11月号掲載記事）

